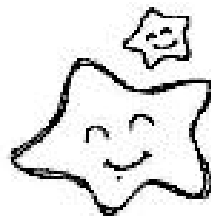


QSK にぬふあぶし

No.238

子の方向の星(北極星)



當山勝吉会長(読谷村)

県精神保健福祉協会会長表彰

11月2日に宜野湾市民会館で開催された第47回県精神保健普及大会において、県精神保健福祉協会・仲本晴男会長より、優良精神保健福祉事業関係者として、読谷村家族会の當山勝吉会長が表彰を受けました。



氏は、読谷村精神療養者家族会において、会長として地域の家族及び当事者を支援しています。とくに2011(平成23)年度の九州ブロック家族大会では読谷村内での開催のために、県内外の家族関係者どおしの連携を強め、家族会活動および当事者の社会参加を促進してきました。

今回の授賞は、氏が読谷村家族会並びに沖福連の理事として、常に精神保健福祉の拡充に尽力してこられた功績などが認められた結果です。

誠に、おめでとうございます。

読谷村で、来年4月22日に夏苺郁子先生 講演会

読谷村家族会では、来年2017年4月22日(土)に読谷村文化センター(読谷村座喜味2901、予定)において、精神科医の夏苺郁子先生を講師にお招きし、講演会と懇親会を準備しています。

詳細が決まれば、改めてご案内を差し上げます。会場を満席にできるように、準備中です。よろしくお願いたします。

2016 みんなねっと三重大会 報告

去った10月27~28日、三重県総合福祉センター(津市)において、「第9回全国精神保健福祉家族大会 希望が三重へ」が全国から1200名の参加のもとで開催されました。沖縄からはユーザー4名を含む16名が参加しました。

27日は、オレンジヴォイスによる演奏と歌のオープニングセレモニーが始まり、続く開会式では、鈴木英敬・三重県知事、前葉泰幸・津市長、岡田元宏・三重県精神保健福祉協会会長をはじめ、来賓各位から祝辞を頂きました。午後の基調講演は、みんなねっと誌でもお馴染み大野裕氏の「誰でもわかる認知行動療法」。変だなと思ったら立ち止まる、諦めると何も変わらない、状況に流されないように、自分でできること(自己決定)を少しずつ、顔の表情によって気分は変わることを、ビデオ上映などを挟んで、「7つのコラムで問題解決！」のコツを紹介して下さいました。

みんなねっと本條理事長の事業報告と厚労省精神・障害保健課占部課長補佐の行政報告に続き、記念講演では千葉県での「精神科アウトリーチ」を渡邊博幸氏が発表。病院の病床削減と地域移行の計画を、グループホームと訪問看護ステーションをつくって、診療の仕組みを変える多職種アウトリーチから始め、在院日数の増大を防ぐ「重症急性期症例統合ケアアウトライン(SACHICO)」の取組などにより、2008年当時に比べて、

病床は180床から40床に減り、在院日数は320日から50日に短縮など、入院に依らず地域で暮らすことを中心に置いて、困難な課題を一つずつ解決しながら結果を出してきた、渡辺氏の誠実な姿勢が伝わる実践報告でした。



★ 参加者より ひとこと ★

良き気づきがあり、良き出会いがあり、
観光もでき、新しい体験が次々あったので
すばらしい三重県大会だったと思います。

いさお(てるしの園芸班)

懇親会では、贅沢な料理とおいしい飲み物を満喫。唐人踊りにカルチャーショック。
28日の分科会では、「ピアカフェ～みんなでしゃべろう～」に参加した4人が楽しかったよ～と、松本ハウスのサイン本を携えて、笑顔で帰ってきたのが印象的でした。

来年2017年は、10月19～20日に岡山・倉敷での全国大会です。 (報告:高橋)

行ってきました、三重県へ

上里早織(てるしの)

大会1日目、学会会木村病院の渡邊さんをお迎えしての「精神科アウトリーチ」は、『入院偏重主義』から『生活の場での援助』に切り替える事を目指した記念講演が行われ、少し笑いも入れた講演で、楽しい時間を過ごせました。

2日目は、各分科会に分かれ、私は第4分科会「はじめよう！若者への啓発を」テーマの講演会が行われ、学生への啓発活動をどう取り行っていけばいいのかの話合いが行われ、なかなか興味深い内容の協議でした。

今回はすごく興味深い大会だったので、楽しく過ごせるものでした。

「リカバリーフォーラム」に参加して・・・

私は、ピアスタッフとして働いている者です。全国では、どの様な形でピア活動を行っているのか知りたくて「リカバリーフォーラム」に参加しました。

まず、ピアとは、精神保健の分野だけでの活動だと思っていました。でも、フォーラムに参加してみると、医療(ガン患者)の分野でもピアスタッフに似た様な活動がありました。アメリカではそれを「ガンサバイバー」と言うそうです。

チーム医療のメンバーにガンサバイバーがいて、医療関係者と患者さんの間をとりもつ役割です。ガンと診断された患者さんに対してワンクッション置く事がその役割です。細かく言うと、ガンサバイバーが自らの闘病体験をガン患者に話して、それによって患者さんが安心して前向きにガン治療に専念できる様にサポートする事です。ガンサバイバーの役割で学んだ事は、どんな病気でも、病気を患った後、リカバリーしていく為に、ワンクッション入れられる場、またその役割を持った人が携わる事が必要だという事です。そうする事で、人は自分の病気を受け入れ、前向きに病気とつきあって行けるという事です。

患者さん1人で病気と向き合うのではなく、患者さんを中心としたチーム(家族、友人、ピア、医療関係者)が協力して本人が上手くりカバリー出来るように関わっていく事が必要で、その為にはピアの関わり方がとても大事だと思いました。

当事者同士で支え合う事も大事だし、生きて行く上でも人と人とが支え合っていく事は大切だと思いました。

最後に、ピアスタッフとして働く時に、「生きていたらいい事もあるよ」と相手の人が思えるようなサポートをしていきたいです。

初めてにぬふあぶしに投稿するので、とても焦りました。これが今の僕の精一杯なので、よろしくお願いします。

O.K

平成28年度 芸術・文化講座開催等事業

心の叫び 一斉展示



今年も下記の日程で、『第12回こころの芸術・文化フェスティバル』が開催されます。

日時：2016年11月22日(火)～27日(日)

開会式・表彰式 22日(火)11時～開会式・表彰式

展示 9:00～18:00 最終日は16:00まで

場所：沖縄県立博物館・美術館、県民ギャラリー 1,2,3,
県民スタジオ(スタジオは25日まで)

◎編集後記◎

11月に入り沖縄もやっと少し肌寒くなってきましたね。

季節の変わり目のこの時期は朝晩の気温の変化もあるので、体調を崩しやすくなります。皆さんは風邪ひいていませんか？インフルエンザも流行っているみたいなので、今一層、お身体にはご自愛ください。(桃)

編集：公益社団法人

沖縄県精神保健福祉会

会長 島田 正博

〒901-1104 南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-16-1

毎日福岡会館 7F

電話 092-753-9722 FAX092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)